

目次

総合図書館の ラーニング・コモンズを拡充しました	P.1-3
総合図書館に 貴重コレクション室が完成しました	P.4
大阪大学職員研修	P.5
NEWS 図書館からのお知らせ	P.6-7
アンケート調査の実施結果(中間報告)	P.8

新しい参考図書
コーナーの紹介

総合図書館の参考図書コーナーは改修後、以下のようになりました。



A棟2階には、よく利用される参考図書を厳選して配架しています。



上記以外の参考図書は、書庫2階に配架しています。なお、書誌・索引もすべて、書庫2階に移動しています。

総合図書館のラーニング・コモンズを拡充しました
～フロア全体でアクティブ・ラーニングを支援～

2014年12月、総合図書館A棟2階の参考図書コーナーを縮小し、ラーニング・コモンズを拡大しました。

ラーニング・コモンズは、2009年、図書資料と電子資料をシームレスに利用し、グループで議論しながら学習できる「学びの場」として、B棟2階にオープンしました。その後、2012年にオープンしたグローバル・コモンズ(C棟2階)とともに、多くの学生が集まる場所として、活発に利用されて来ました。

今回、さらにA棟2階をラーニング・コモンズとして改修することで、総合図書館2階フロアは、すべてアクティブ・ラーニングを支援する空間として整備されました。それぞれに移動できる机・椅子、ホワイトボードを用意していますので、個人での自習から、グループでのディスカッションまで、幅広くお使いいただけます。



また、あわせて既存のラーニング・コモンズについても、改修の手を加えています。老朽化が進んでいた端末ゾーンの床を張り替えるとともに、一部の机・椅子について新しいものに入れ替え、座席数を増やしました。不足がちなホワイトボードも増設しています。

グローバル・コモンズも、2014年7月に耐震改修工事を終えて再オープンし、12月からは新たにTA(ティーチング・アシスタント)を配置するなど、さらなるサービスの充実に努めています。

物理的・人的サービスがいっそう充実し、より使いやすくなった総合図書館ラーニング・コモンズ、グローバル・コモンズ。みなさんそれぞれの学習スタイルにあわせて、ぜひご活用ください。

利用支援課 宮地健士

機器の貸出も しています

総合図書館では、館内での学習に利用できるノートパソコンやプロジェクタを貸出しています。ご利用にあたっては、学生証・利用者票を持ってメインカウンターへお越しください。

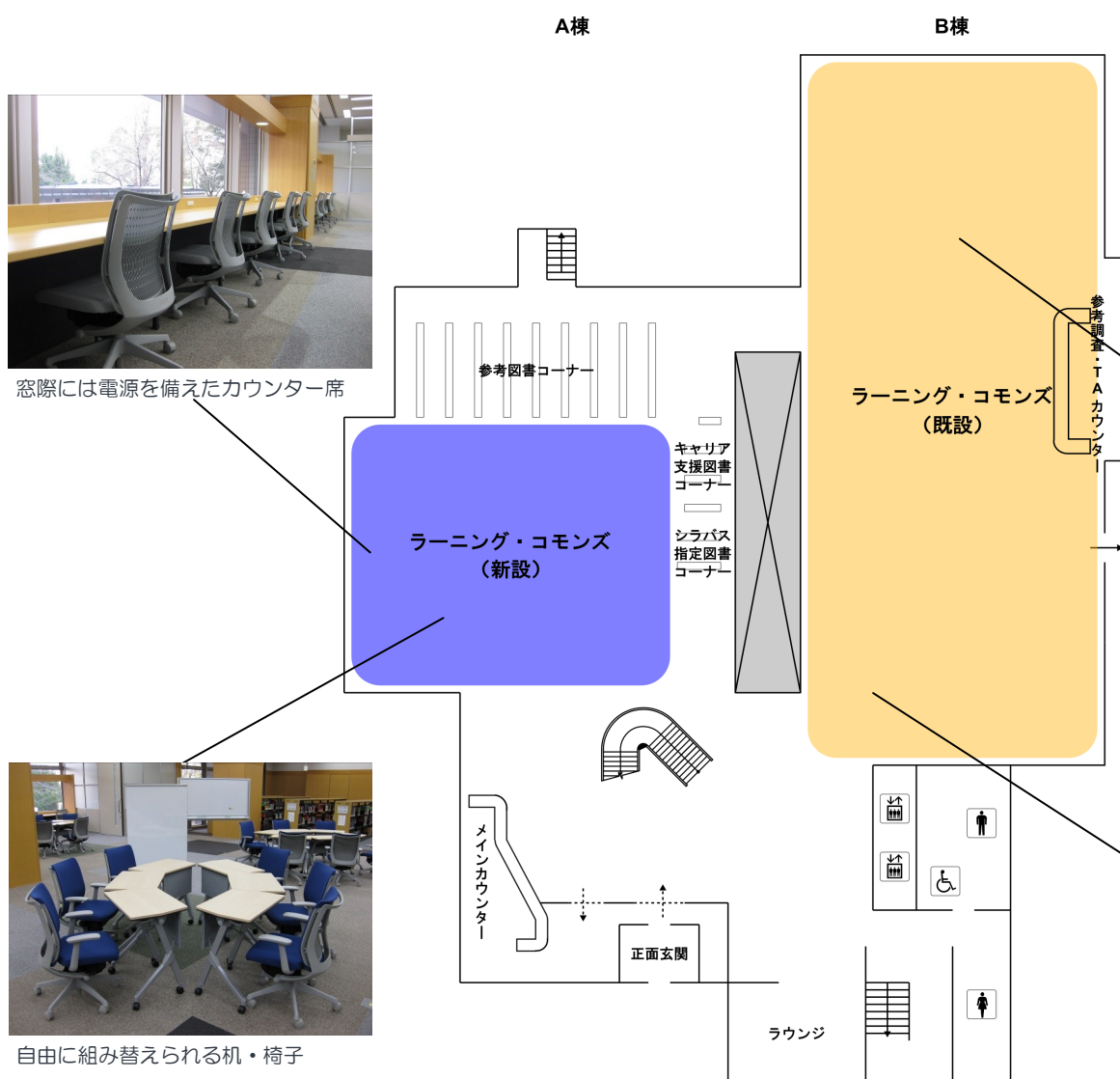


貸出用ノートパソコンは、Windows と Macintosh の両方を用意しています。



プロジェクタも貸出しています。発表・プレゼンの練習や、多人数でパソコン画面を共有しての議論にどうぞ。

総合図書館2階フロアの紹介



他の図書館でもアクティブ・ラーニング・スペースの拡

理工学図書館

理工学図書館の予定内容を紹介します

2015年4月、理工学図書館東館1階に、新しいアクティブ・ラーニング・スペースが誕生します！

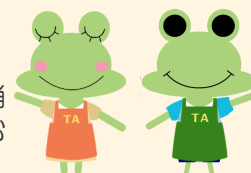
西館のラーニング・コモンズにはなかったプレゼンテーションエリアや、ワイガヤウォール（壁一面のホワイトボード）など、みなさんのアクティブ・ラーニングを助けるたくさんの仕掛けがお目見えする予定です。

【プレゼンテーションエリア】

可動席数36以上、好きなときに好きな人数で、プレゼンテーションの練習ができます。もちろん、本番の会場としてもご使用いただけます。

【ワイガヤウォール】

壁一面の大きなボードです。思いのままにどんどん書いて消してご使用ください。そこに書いたものをパソコンに取り込むことも可能です！



新しいITAの紹介



グローバル・コモンズでTAを始めて日が浅いですが、これまでに以下のような相談へ対応しました。

- ・学術論文執筆のハウツー本さがし
- ・日本語の文章校正（留学生）
- ・Excelのグラフデザイン調整等

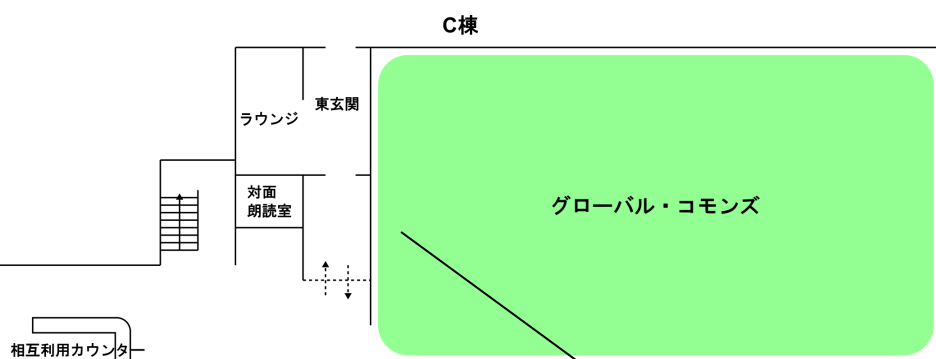
一緒に探し物をしたり、話し合ったりしますので、こちらも勉強になることが本当に多いです。

上に挙げたほか、以下などについてもどうぞ。

- ・先行研究調査
- ・院試対策

対応言語は日本語と英語です。ぜひご活用ください。

総合図書館TA
人間科学研究科 D1
志水洋人さん



新しい机・椅子・ホワイトボード



新しく設置したTAの学習相談デスク



新しく張り替えられた床

充を予定しています

外国学図書館

外国学図書館の予定内容を紹介します

2015年4月、外国学図書館4階にAVコモンズを新設し、AVライブラリーを移設します。

AVコモンズは“るくす”や“グループ学習室”とは違った利用も可能となり、AVライブラリーもより利用しやすくなります。

【AVコモンズ】

グループでDVD、ブルーレイ、レーザーディスク等の資料や衛星放送をワイヤレスヘッドホンを使用して利用する学習スペースです。席数は20席で、1グループ2名から20名、最大で4グループの利用が可能であり、利用人数や用途に応じて自由にレイアウトの変更ができます。

【AVライブラリー】

総合研究棟3階から外国学図書館4階に移動します。1人もしくは2人で、DVD、ブルーレイ、レーザーディスク等の資料や衛星放送をワイヤレスヘッドホンを使用して利用する学習スペースです。個々の席はブースで囲まれているので、周りを気にすることなく利用できます。席数は1人用映像ブース20席、2人用映像ブース2席、1人用音声ブース3席です。

なお、ともにご利用には、AVライブラリーカウンターでの手続きが必要です。

総合図書館に貴重コレクション室が完成しました

2014年11月、総合図書館C棟3階に貴重コレクション室が完成しました。

総合図書館で所蔵する貴重な資料の数々（懷徳堂資料を除く）が一堂に集まり、さらには外国学図書館で所蔵していた貴重資料（石濱文庫を含む）も移管され加わりました。

貴重コレクション室 配置図

貴重コレクション室は保存書庫の為、原則入室していただくことはできません。職員による出納式となっており、併設の閲覧室で資料を閲覧できます。

利用案内

◆利用時間
平日9時～17時

貴重図書の利用は出納式となっているため、事前の申請が必要です。

◆本学学生・教職員
問い合わせ先：
総合図書館フロアサービス担当

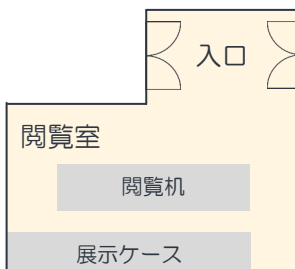
閲覧希望日の前日までに利用申請書を総合図書館メインカウンターにご提出ください。学生の方は指導教員の押印が必要です。

また、複写（デジタルカメラによる撮影）を希望される場合は、別途申請が必要となります。

◆卒業生・学外一般の方
問い合わせ先：
総合図書館参考調査担当

事前に所蔵確認のお問い合わせをお願いします。所蔵確認後、利用許可願の申請書をご郵送いただきます。許可がおりるまで時間を要しますのでご利用希望日の1～2週間前までにお問い合わせください。

※各様式は、図書館Webサイトよりダウンロードできます。
※詳しくは、図書館Webサイトをご覧ください。



収蔵されている資料

◆竹友文庫

本学文学部英文学講座初代教授であった、英文学者・翻訳者竹友藻風氏の旧蔵書コレクション。

◆忍頂寺文庫

近世歌謡研究家忍頂寺務氏旧蔵の江戸時代の歌謡書・洒落本のコレクション。

◆石濱文庫

石濱純太郎博士旧蔵の約42,000点に及ぶ学界屈指といわれる東洋学コレクションで、モンゴル語・満州語・西夏語・ウイグル語・チベット語等に関する資料が数多く納められています。

さらに漢書・殷墟書契関係文献・敦煌学関係文献、洋書では歴史学・言語学を中心とする東洋学文献は威容を誇っています。

このほか、各種文庫、西洋古版アジア地図、紡績協会資料、大型コレクション、和古書・和装本などを収蔵しています。

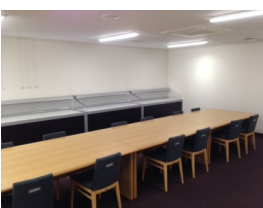
※OPAC検索時、「総合図-C棟3階 OO(貴重図書)」と表示される資料です。



竹友文庫



石濱文庫



閲覧室

閲覧機、椅子、展示ケースを備えています。貴重コレクション室内の資料はこの部屋で閲覧できます。

温湿度管理について

貴重コレクション室内は、温湿度を常時一定に保つよう調整されており、また、壁紙には調湿機能、各種ガス吸着性能に優れた素材を使用しています。温湿度をチェックするデータロガーも設置し、貴重資料管理に適した環境を維持しています。

大阪大学職員研修 図書館と貴重コレクション ～懐徳堂文庫・石濱文庫を知る～

2014年12月10日、新しく貴重コレクション室が完成したことを機に、本学が所蔵する貴重コレクションについての講演会が総合図書館図書館ホールにて開催されました。

講演1：懐徳堂文庫について一印を手がかりに古文書の来歴を知る―

湯浅邦弘 氏（文学研究科教授）

講演2：石濱文庫の特色と今後の調査・研究にむけて

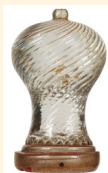
堤一昭 氏（文学研究科教授）

ここでは、講演会でお話いただいた貴重コレクションの一部をご紹介します。

懐徳堂文庫の歴史

懐徳堂文庫について

懐徳堂文庫には古い文献以外にも、200を超える多彩な印章とその印譜（印影などが掲載された書籍）が残されています。懐徳堂文庫のデジタルコンテンツ化事業の成果であるWeb懐徳堂では、第四代学主の中井竹山と、竹山の弟・履軒の印章を、その印譜である『懐徳堂印存』とともに閲覧することができます。印は、その文献が辿ってきた道筋を知り、その印を用いた人物の思想を知る手がかりであるとも言えます。



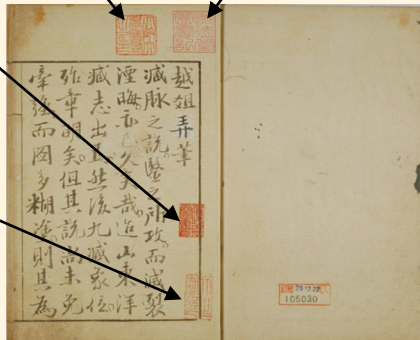
「水哉」玻璃印
鈕は玻璃（ガラス）製。
印文は履軒の私塾である水哉館にちなむ。もとは『孟子』に見られる言葉。

「大阪大学圖書之印」
大阪大学に受け入れた際に押されたもの。

「懐徳堂圖書記」
懐徳堂の蔵書であったことを示すもの。

「履軒圖書」
中井履軒の蔵書であったことを示すもの。

「天生寄進」
天生（中井履軒の曾孫である中井木菟麻呂の号）が懐徳堂記念会に寄贈したことを示すもの。



中井履軒の医書「越俎弄筆」

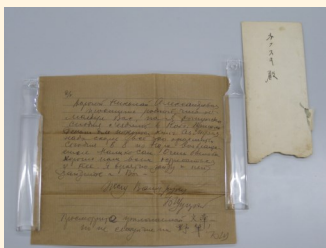
※画像はWeb懐徳堂にてご覧いただけます。
<http://kaitokudo.jp/>

懐徳堂は、江戸時代（1724年）に大坂町人らが三宅石庵を初代学主として招いて創設された学問所です。1869年、幕末維新の動乱で閉校となりますが、1910年に懐徳堂記念会が設立され、後に重建懐徳堂が竣工、鉄筋コンクリート造りの書庫も建てられます。この書庫だけは1945年の大阪大空襲の際にも焼け残り、戦災を免れた蔵書が懐徳堂文庫として大阪大学に寄贈されることとなったのです。

石濱文庫について

石濱文庫は、『大阪外国語大学所蔵石濱文庫目録』に掲載された整理済みの資料（約42,000点）と、整理途上および未整理の資料（13,000点以上）とに大きく分けられます。整理済みのものの中には西夏語やモンゴル語の貴重な文献のほか、多岐にわたる言語の資料が含まれています。一方、未整理のものには、多言語の文献に加えて拓本、写真、書簡、新聞、さらには研究ノートや原稿類といった様々な資料が含まれており、多言語・多分野にわたる専門家による調査、研究が待たれています。

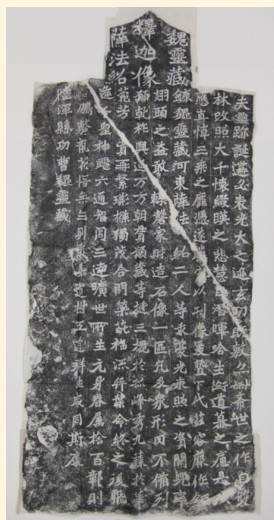
※図書館Webサイトで公開している館報43巻3号には、石濱文庫に関する特集記事があります。ぜひご覧ください。



【上】「ネフスキーあてシュツキー書簡」

東洋学者のネフスキーとシュツキーとが交わした書簡。石濱文庫には石濱とネフスキーとの書簡のみならず、ネフスキーが他の学者とやりとりした書簡なども残されている。

【右】「魏霊藏薛法紹造像記（ぎれいそうせつほうしょうぞうぞうき）」
石窟内に掘られた仏像の傍らに造像の由来を刻んだもの。



石濱文庫の歴史

1968年、4万点以上にのぼる石濱純太郎（1888-1968）の蔵書が当時の大阪外国語大学「上八学舎」の図書館に搬入されました。保管状態は乱雑で、資料には虫食いも見られたと言います。ガス燻蒸ののち、目録編纂作業が進められ、『大阪外国語大学所蔵 石濱文庫目録』（1977年版と1979年版）が刊行されました。しかし、目録に掲載されているのは図書や主な雑誌資料のみで、拓本・書簡といった資料は未整理のまま残されています。

NEWS☆図書館からのお知らせ(2014.8～)

教員著作資料 ご紹介①

附属図書館では、本学教員の著作をできるだけ網羅的に収集し、本学の優れた教育研究活動の成果として公開しています。

最近ご寄贈いただいた資料の一部をご紹介します。



基礎からしっかり学ぶ生化学
(羊土社、2014)

世の中には生化学を扱う優れた教科書がすでに存在しているが、それらは分量も多く、それゆえにコアとなるメッセージが希釈されてしまうという欠点がある。本書はそれを補うべく、内容を厳選して分かりやすく伝えることを重視した。そのため生物や化学が得意な読者だけでなく、予備知識があまりない読者が読んでも充分理解できるように構成されている。

成田央
(生命機能研究科特任助教)

※本学教員のみなさま

著作を刊行されましたおりに、ぜひとも図書館にご寄贈いただきますようお願いいたします。

学生選書と交流会を実施

◆ 学生選書は、学生のみなさんが「図書館にあったらいいな」と思う本を選ぶ企画です。9月～10月にかけて数十名の方々に店頭やWebで選書していただきました。

加えて、今回初めて、参加した学生の交流会を実施しました。実施日は10月16日、参加者は7名でした。学生同士の交流だけでなく、参加者自身の新たな気づきの場となる楽しい会となりました。また図書館としても、蔵書に対する貴重な意見をいただけました。

選書者によるレビューを交えた紹介リーフレットも各館で配布しており、選んだ本人による端的で興味深い紹介文が掲載されています。リーフレットは、図書館Webサイトでも公開しています。どうぞご覧ください。



英語論文セミナー [総合図]

◆ 10月3日、総合図書館図書館ホールにて、国際誌に投稿するための論文執筆について、外部から講師を招いてワークショップを開催しました。

エルゼビア・ジャパン株式会社の協力により、学術雑誌でエディタを務める本学の田島節子教授(理学研究科)や、査読をする出版社や翻訳・校正をサポートする会社からお招きした講師の方々に、それぞれの立場で講演をしていただきました。各研究科の大学院生から教職員まで、78名の方々にご参加いただきました。

ワークショップ後のアンケートには、「海外の論文投稿の流れがわかった」「論文のアピールの重要性や方法を知った」「英語での表現方法などで注意すべき点がわかった」などの感想が見られました。



天文同好会 月食観望会 (レクチャー・展示) [総合図]

◆ 全国で皆既月食を観測できた10月8日、本学天文同好会が豊中キャンパス内にて月食観望会を開催しました。これに先立ち、総合図書館グローバル・commonsにて、天文同好会員によるレクチャー「月食を知る」が行われました。また、これにあわせて、天文同好会が撮影した天文写真も館内に展示しました。



ILL講習会 [総合図] [外国学図]

◆ 10月30・31日に総合図書館ラーニング・commonsにて、11月20・21日に外国学図書館るくす(ラーニング・commons)にて、本学で所蔵していない文献を入手する方法についての、図書館職員によるミニ講習会を実施しました。

複写・貸借のそれぞれ基本的な手順、必要な時間や費用等の説明を行いました。訪問利用についても、手順と注意事項、特に貴重書利用について説明しました。

その他、文献収集に役立つ情報を紹介しました。学部生から大学院生までの参加があり、「利用してわかったことを知ることができた」などの声が聞かれました。



映画字幕翻訳講座2014 [外国学図]

◆ 11月13日、外国学図書館4階AVホールにて、言語文化研究科・大阪映像文化振興事業実行委員会（アジア映画祭）主催、外国学図書館共催で、毎年好評の映画字幕翻訳講座を開催しました。

映画字幕の第一線で活躍されている、字幕翻訳家・松岡葉子さんと字幕制作者・堀三郎さんにお越しいただき、映像翻訳の基礎知識をはじめ、DCI仕様のデジタルシネマの説明や、映画字幕の作成作業についてご講義いただきました。

また、『ローマの休日』を題材に字幕を作成し、講師の方に添削いただくといったワークショップも行われました。参加者は94名でした。

TA座談会 [総合図]

◆ 12月19日、総合図書館ラーニング・commonsにて、「最近面白いと思ったこと」を切り口に、参加者同士が発表しあう参加型座談会を開催しました。総合図書館TAが進行役を担い、あらかじめ募った参加者が各自のテーマについて、10分程度の短いプレゼンを行いました。参加者からは「他分野の話が聞けてよかった」「今後も続けてほしい」との声が聞かれました。



グローバル・commonsにTAを設置 [総合図]

◆ 総合図書館グローバル・commonsに、新しくTAを設置しました。英語に堪能な大学院生が、英語についての学習相談や、（主に留学生を対象とした）英語による学習相談に応じています。どうぞご利用ください。

ディスカッションボード連動図書展示企画 [総合図]

◆ 総合図書館B棟2階の掲示板で展開中の「ディスカッション・ボード」は、学生がそれぞれ一言を書き込み、自由に議論ができる場所です。不定期にテーマを変えており、4回目（11月～）のテーマは「恋愛とは〇〇である。」でした。このテーマに関連して、TAが、各自の専門分野など様々な視点から本を集め、展示しました。

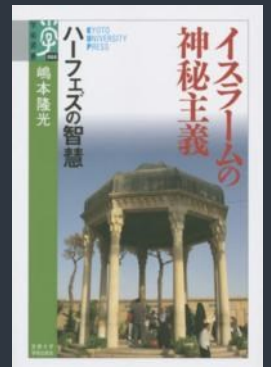


各館図書展示

- ◆ブックコレクション（書評対決）[総合図]（毎月入替）
- ◆ブリッサー賞と受賞建築家たち[理工学図]（7月～8月）
- ◆第1回「専攻語図書リレー展示」：デンマーク語[外国学図]（7月～8月）
- ◆第2回「専攻語図書リレー展示」：スペイン語[外国学図]（8月）
- ◆空ヲ飛ブ、スーイスイ。[理工学図]（8月～10月）
- ◆第3回「専攻語図書リレー展示」：ヒンディー語[外国学図]（10月）
- ◆ノーベル賞の世界2014 [理工学図]（10月～11月）
- ◆第40回「14冊の本棚」：映画を観る新しい視点—映画に学ぶ—映画で学ぶ—14冊+α（講座コラボ企画）[外国学図]（10月～11月）
- ◆SHINKANSEN 一夢の超特急、50年のあゆみ—[理工学図]（11月～）
- ◆第4回「専攻語図書リレー展示」：インドネシア語[外国学図]（11月～12月）
- ◆第5回「専攻語図書リレー展示」：中国語[外国学図]（12月）
- ◆2014年を振り返る24冊 [総合図]（12月～1月）
- ◆学生選書で選ばれた本 [総合図][外国学図]（12月～1月）
- ◆第41回「14冊の本棚」：ファンタジーの世界に迷いこむ14冊[外国学図]（1月）

教員著作資料 ご紹介②

各図書館の「教員著作コーナー」へ集めて配架し、図書館Webサイトでもご紹介しています。



イスラームの神秘主義：ハーフェズの智慧
（京都大学学術出版会、2014）

本書は、世界的に広範なファンを持つとはいっても、日本では余り知られていないペルシアの詩人ハーフェズを題材とする。特にこの詩人の神智（神についての知識）に関する詩に焦点を当て、現代社会を考えてみた。ポイントは、近・現代社会で久しく正統な知識として受け入れられてきた近代西洋的思考法が、さまざまな局面で機能障害を起こしている現状を、新たな観点から見直すきっかけを与えることである。分析的、理性的な知に対するものとして、直感的、一見「無意味な」発話の意義を考えようとする試みである。本書では酒や恋、破戒など一見反宗教的（イスラーム）と見える詩人の言葉の奥義を解釈して、私たちが日常直面する問題を解くヒントを得ることに努めた。

嶋本隆光
（日本語日本文化教育センター教授）

利用者アンケート調査の実施結果



平成26年度 ポスター

LibQUAL+®

LibQUAL+®は、米国研究図書館協会(ARL)が図書館のサービス品質を測定するために開発した調査ツールです。顧客サービス品質測定のSERVQUALを基にしています。

22の調査項目に対し、3種類(最低限、希望、実際)のサービスレベルを、利用者が9段階で点数化した結果に基づき、①サービスの姿勢(AS) ②情報のコントロール(IC) ③場所としての図書館(LP)という3つの側面から図書館サービスの品質を評価するものです。

本学での実施は2008年より隔年で実施しており、今回で4回目となります。

附属図書館では、2014年10月27日(月)から11月28日(金)に、利用者アンケート調査「LibQUAL+®(ライブカル)」を実施しました。お寄せくださった回答は、利用者サービス向上と、附属図書館の経営改善および事業計画策定のための基礎データとして活用させていただきます。みなさまのご協力、誠にありがとうございました。

本記事では、結果の概要をお知らせします。別途、最終報告書を公開する予定です。

回答者の内訳

回答者数は、2,040名(うち分析有効回答数：1,887名)でした。分析有効回答者の内訳は、学部生925名、大学院生529名、教員・研究員244名、図書館スタッフ22名、職員167名でした。なお、回答率は、調査対象者(学部、大学院生、教員の在籍数)の6.9%でした。

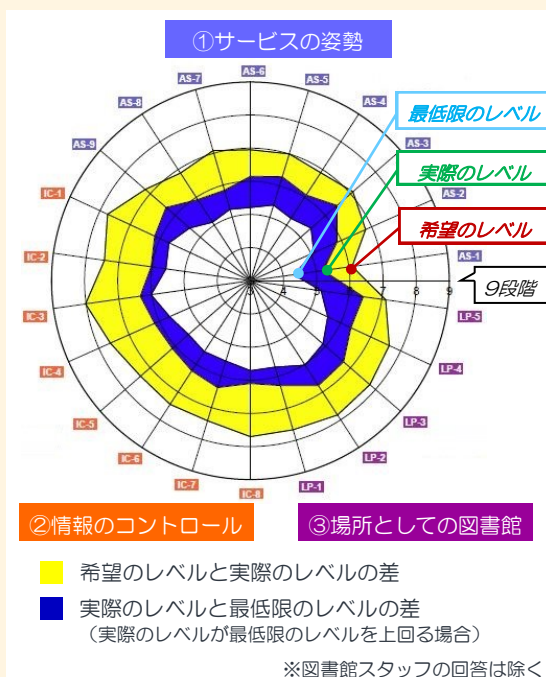
全体の結果・コメントについて

調査のうち、22項目を分析した結果が、右の図です。設問毎の「希望のレベル」「実際のレベル」「最低限のレベル」の平均点を示しています(9点満点)。各設問は、図書館を①サービスの姿勢 ②情報のコントロール ③場所としての図書館という3つの側面から評価するものです。

そのうち、相対的に「希望のレベル」と「最低限のレベル」の点数が高いのは、②情報と③場所でした。回答者がこの2点に関心の比重を置いていることがわかります。しかし、「希望のレベル」と「実際のレベル」の差は大きく、図書館への課題が示されています。

①サービスの姿勢は「希望のレベル」の点数は低いものの、コメント欄で多くのご意見をいただきました。講習会の拡充のほか、新しいサービスのご提案もいただいています。これらのご意見を期待の表れと捉え、スタッフが提供するサービスの質をよりよいものにすることがあります。

他にもコメント欄では、設備、資料への案内、サービスの広報、接遇など、多数の改善点のご指摘をいただきました。ご意見を受け、みなさまがいっそう学習・研究活動に集中できる環境を整えていきたいと考えています。



図書館サービスのさらなる向上にむけて

今回のアンケート調査の結果から、附属図書館では、利用者の求めに応じた目指すべき重点目標(アクションプラン)を設定し、組織的・継続的なサービスの改善に努めていきます。また、利用者アンケート調査は今後も定期的な実施を予定しており、図書館が担うべき役割、利用者のニーズ、図書館サービスの質とのギャップを縮めるべく、努力を重ねていきます。今後ともよろしくお願いいたします。

Vol.48 No.2 通巻186号

2015年2月28日 発行

編集:大阪大学附属図書館

担当:田原勝典、岡田綾子、宮地健士、福永円、林英哉、小松涼子、六車彩都子、由利江里子

住所:大阪府豊中市待兼山町1-4

Web: <http://www.library.osaka-u.ac.jp/>

E-mail: kohowg@library.osaka-u.ac.jp

Twitter: @OsakaUnivLib